



第40期 中間株主通信

平成21年4月1日～平成21年9月30日

 株式会社 **朝日ラバー**
JASDAQ 証券コード：5162



独自性の高い製品を生み出す技術力を高め 復活・再生を図ってまいります



代表取締役社長
横山林吉

当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間は、6月以降、ハイブリッドカーに代表される自動車関連製品の受注が回復し始めてはいるものの、昨年からの世界不況による景気減速の影響を受け、非常に厳しい環境が続きました。その結果、連結売上高は19億7千8百万円（前年同期比31.2%減）となりました。利益面につきましては、人件費に関わる経営合理化策を実施するなどコスト削減に努めましたが、売上高の大幅な減少の影響が大きく、連結経常利益6百万円（前年同期比92.7%減）と、引き続き非常に厳しい結果となりました。

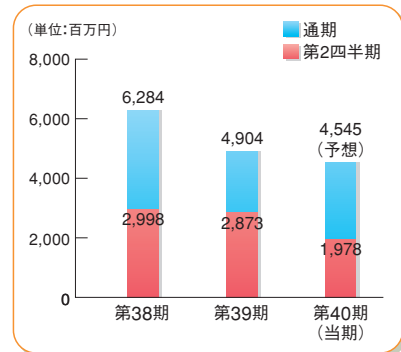
当期は、事業部制から開発本部、事業本部、管理本部の3本部制とする組織変更を行い、次の事業の柱となる開発テーマの発掘と早期の事業化を進めています。独自の技術を生かした新製品のICタグ製品の市場供給をスタートするなど、活動が目に見える形で現れてきました。

また、独自技術の「色と光のコントロール技術」「表面改質及びマイクロ加工技術」「素材変性技術」の要素技術の深耕と、製品化に向けた用途開発を進めると同時に、特に生産現場では、このたびの不況による顧客の価値観の変化に対応できるように、付加価値のある製品をより安く提供できるよう、ものづくりの革新を進めています。

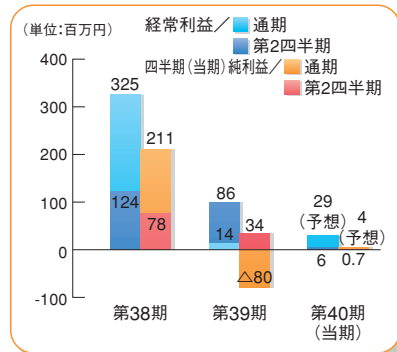
当社グループの配当方針につきましては、株主資本の充実と長期的な収益力の維持・向上、業績に裏付けられた安定的な配当の継続を原則としています。当第2四半期連結累計期間の実績は、ご案内の通り、黒字ではあるものの僅かであることから、誠に遺憾ではございますが、中間配当は無配とさせていただきます。

来期も景気回復のペースは遅く、しばらくは厳しい経営環境が続くものと思われませんが、株主の皆様におかれましては、再度成長、復活・再生の路線に入りつつある当社グループの事業活動をご理解のうえ、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

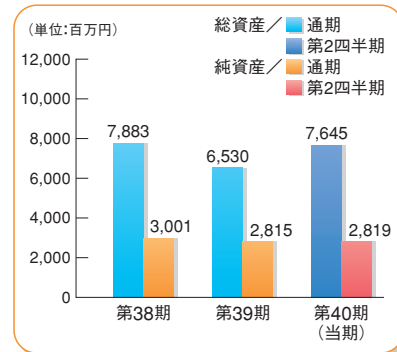
●売上高（連結）



●経常利益／四半期(当期)純利益(連結)



●総資産／純資産(連結)



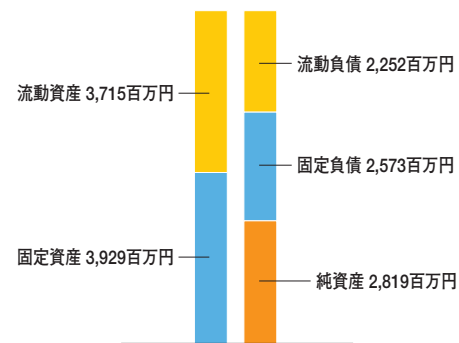
(単位：千円)

科 目	当第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売 上 高	1,978,336	2,873,836	4,904,892
営 業 利 益	34,345	72,574	46,625
経 常 利 益	6,334	86,334	14,151
四 半 期 (当 期) 純 利 益	722	34,027	△ 80,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,358	470,935	795,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 256,403	△ 321,793	△ 541,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	821,377	△ 40,743	△ 271,143
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	1,233,319	631,574	508,356

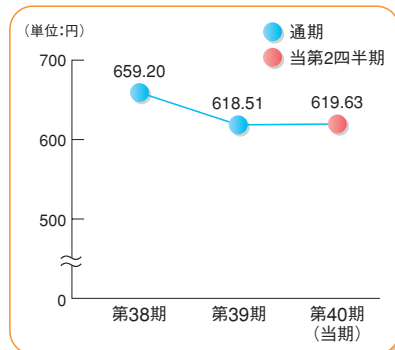
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■資産の状況

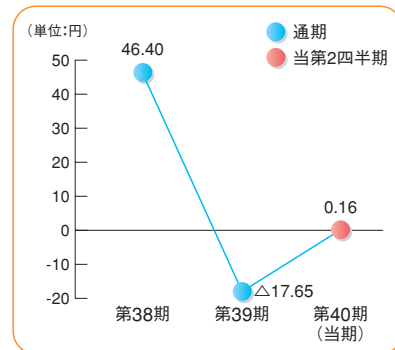
総資産
7,645百万円



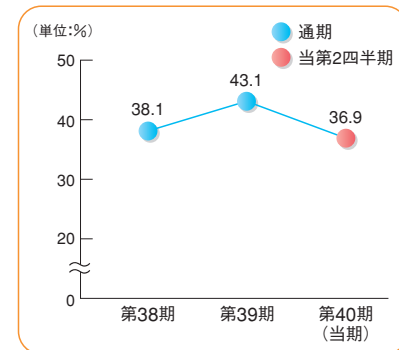
●1株当たり純資産額（連結）



●1株当たり四半期(当期)純利益（連結）



●自己資本比率（連結）



ASA COLOR LENS

当社では、「ASA COLOR」ブランドとして、シリコンを材料に、独自の色と光をコントロールする、光デバイス向けの製品を製造・販売しています。

この技術を生かして、市場で大きく期待されているLED（発光ダイオード）向けのレンズとして、シリコン樹脂製レンズ「ASA COLOR LENS（アサカラーレンズ）」を開発し、ガラスやエポキシ樹脂に替わる新世代のシリコンレンズとして拡販を進めています。

今回は、省エネルギーや温室効果ガス削減に貢献できる、このLED向け「ASA COLOR LENS」の特長や今後の展開についてご説明いたします。

●材料と開発経緯

当社では、創業来、シリコンをベースにした高機能ゴム製品を生産し、市場に供給してきました。

小型電球用のカラーキャップの「ASA COLOR LAMPCAP」、LED用の「ASA COLOR LED」も、シリコンゴムをベースに着色剤や顔料、蛍光体を配合し、独自の機能を持たせた製品です。

こうしたものづくりの過程で、シリコンの特性をさらに高めるために、材料メーカーと共同し、光透過率94%と非常に透明度の高いシリコン材料を開発しました。

以前よりお客様から、樹脂よりも耐熱性に優れ、ガラスより軽くて扱いやすい素材のレンズの要望を受けていたことから、この透明なシリコンを材料とし、独自の製造方法を構築して高透明・高耐熱LED用シリコンレンズ

「ASA COLOR LENS」を他社に先駆けて開発しました。

開発は現在も進化し続け、硬質樹脂のように硬い素材、軟質樹脂のように

少し柔らかい素材を用いて、お客様の要求する機能を備え、コスト対応力もあるシリコンレンズをご提供しています。



「ASA COLOR LENS」

●「ASA COLOR LENS」の特長

「ASA COLOR LENS」は、シリコーンの持つ高い耐熱性と耐紫外線性を兼ね備えた透明レンズです。他の樹脂素材を用いたレンズでは、150℃を超える高温環境での使用や紫外線を透過する状況では、変色してしまって透明性が損なわれてしまいます。「ASA COLOR LENS」は、他の樹脂素材を用いたレンズでは使用が難しいとされる環境でも、その透明性などのレンズ特性を劣化させることなく、使用することができます。

独自の製法により、金型転写性に優れ、様々な形状のレンズをご提供する

ことができます。非球面レンズやドーム形状、また微細なフレネルレンズといった成形が難しい形状のレンズでも生産可能です。

また、大きさも直径10cmから0.5mmなど、お客様のニーズに合ったレンズをご提供することができます。

これまでに、パワーLED用レンズ、近紫外線LED用レンズ、鉛フリーフロー対応レンズ、高い信頼性を要求される車載センサー用レンズなどに採用実績があり、耐熱試験、熱衝撃試験、高温度・高湿度試験といった評価項目をクリアしています。

●市場への貢献

LEDは、省電力と省スペース、応答速度が速い、環境負荷物質を含んでいないといった、これまでの光源にはない特長を持つ次世代の光源として、その役割を期待されています。携帯電話や自動車向けの市場で普及し、ノートパソコンや液晶テレビの光源として、また、一般照明分野への応用が進んでいます。

「ASA COLOR LENS」は、これから普及が期待されているLEDに用いて、用途に合わせて集光・拡散を行う、高透明・高耐熱シリコーンレンズで、そ

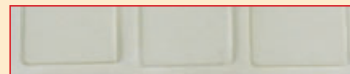
の特性から、鉛フリーフロー対応、特に通常のLEDよりも熱を発生するハイパワーのLEDと併せて使用することに適したレンズです。

「ASA COLOR LENS」は、お客様の使用環境や設計仕様に合わせて、様々な形状、配光特性を持たせることができることから、特定のお客様向けにカスタマイズした製品をご提案してまいりましたが、よりお客様に使用していただきやすいように、集光角度で要望の多い25°、35°、60°、80°の標準レンズを設定しました。

耐熱試験後 エポキシ樹脂との外観比較

※150℃ 700時間保存後

●当社のシリコーン樹脂



シリコーン樹脂は150℃の高温下に700時間保存しても初期の透明度を保ちます。



●エポキシ樹脂

エポキシ樹脂は時間が経過することにより黄変し、透明度の低下が目立ちます。

今後さらに材料の改良などで付加価値を高めると同時に、積極的に営業展開を進めてまいります。



ハイパワーLEDに使用された「ASA COLOR LENS」

社会の出来事

平成21年

4月

WHO（世界保健機関）が新型インフルエンザの感染拡大を受け、警戒レベルをこれまでの「フェーズ4」から「フェーズ5」に引き上げたと発表した。【4/30】（その後フェーズ6へ引き上げ。【6/12】）

5月

グリーン家電製品の購入者を対象に、様々な商品・サービスと交換可能なエコポイントが取得できるエコポイント制度がスタート。【5/15】

刑事裁判に一般市民が参加する裁判員制度が始まる。【5/21】（全国で初となる裁判員裁判は8/3に東京地方裁判所にて実施。）

6月

アメリカ自動車大手ゼネラル・モーターズが、ニューヨークにある連邦破産裁判所に日本の民事再生法にあたる破産法の適用申請を行い、事実上破たんした。負債総額は約16兆4,000億円に及び、製造業としては世界最大の破たんとなった。これを受け、アメリカ政府は追加融資を行い、その代わりとして株式の60%を保有し、事実上、国有化するなどの再建支援を行った。【6/1】

7月

第45回衆議院選挙が実施され、民主党は、小選挙区で221議席を獲得したほか、比例代表でも87議席を獲得し、過半数を大きく超える308議席に達した。【8/30】

8月

特別国会が召集され、民主党の鳩山由紀夫代表が第93代内閣総理大臣に選出され、社民党・国民新党と連立の鳩山内閣を組閣した。【9/16】

9月

ニューヨークで開催された国連総会で気候変動サミットが行われ、鳩山首相が開幕式で演説を行った。鳩山首相は演説で、温室効果ガスの削減について「2020年までに、1990年度比で25%削減すると表明し、各国から高い評価を得た。【9/22】

※日付はいずれも日本時間

朝日ラバートピックス

平成21年3月期決算発表【5/14】

第39回定時株主総会開催【6/26】

PICK UP

東京で個人投資家向け説明会を開催しました。【7/25】

7月25日、東京の三田NNホールにて個人投資家向け説明会を開催し、90名の個人投資家の皆様にご参加いただきました。今回は横山社長から、昨年末からの外部環境の変化が当社に与える影響と足元の業界動向、また新組織の開発本部の役割とコア技術について説明しました。説明会後には別室で交流会があり、ASA COLOR LEDやラバーファントムなどの製品を展示しました。集計したアンケートでは「1~2年後を見て考えたい」、「現在より将来に期待が持てる気がする」といったご意見をいただきました。



平成22年3月期第1四半期決算発表【8/7】

PICK UP

ラバーファントムが第3回ものづくり日本大賞の東北経済産業局長賞を受賞しました。【8/3】

ものづくり日本大賞は、我が国の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の「ものづくり」に携わっている人材のうち、特に優秀と認められる人材などに対して表彰する制度で、平成17年8月に創設され、今回で第3回となります。

人体の電気特性を再現した電波測定評価用検体のラバーファントムは、このものづくり日本大賞の東北経済産業局長賞を受賞しました。表彰式は8月21日にホテル仙台プラザで行われ、ファインラバー研究所の小山下主幹研究員他7名が表彰状を受け取りました。

また、この受賞をきっかけに、郡山ハイテクプラザからの依頼により、県内企業の技術力をアピールするために、9月2日から7日までの間、福島空港ロビーにラバーファントムを展示しました。



PICK UP

株主の皆様へ白河工場を見学していただきました。【8/29】

8月29日、株主の皆様を対象に白河工場の見学会を開催いたしました。3回目となる今年は、6名の株主の皆様にご参加いただきました。都内など遠方からもお越しいただき、クリーンな環境で生産を行っているASA COLOR LED、ASA COLOR LENSの製造工程をご見学いただきました。

参加された株主の皆様からのアンケート結果では、「細かい説明を良く聞くことができた」「製品の具体的な用途とその生産プロセスの関係が良く理解できた」「今後の発展の見込める会社と理解したし、株は長い目で見たと思います」とのご意見をいただきました。

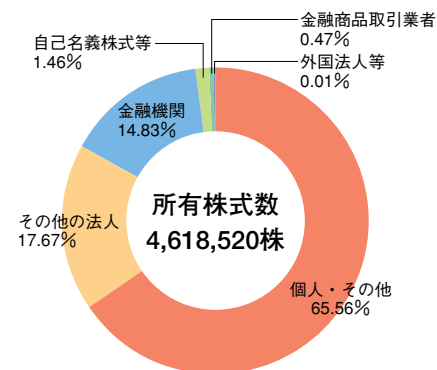


■発行可能株式総数	11,500,000株
■発行済株式の総数	4,618,520株
■株主数	1,168名
■大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社伊藤コーポレーション	715,500株	15.7%
伊藤潤	227,000	5.0
伊藤巖	222,528	4.9
株式会社南日本銀行	216,000	4.7
朝日ラバー共栄持株会	166,500	3.7
朝日ラバー従業員持株会	146,028	3.2
室井豊	134,500	3.0
株式会社武蔵野銀行	113,000	2.5
株式会社東邦銀行	97,400	2.1
株式会社西京銀行	96,500	2.1

(注) 出資比率は自己株式(67,480株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況



商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) http://www.asahi-rubber.co.jp
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
設立	昭和51年6月 (創業 昭和45年5月)
資本金	5億1,687万円 (平成21年9月30日現在)
JASDAQ	証券コード5162
正社員数	238名 (平成21年9月30日現在)
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
主な取引銀行	みずほ銀行/三菱東京UFJ銀行/武蔵野銀行/ 東邦銀行/常陽銀行/埼玉りそな銀行
事業所	本社 埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2 大阪営業所 大阪府大阪市城東区蒲生1丁目12番10号 福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地 第二福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3 白河工場 福島県白河市萱根月ノ入1番地21 上海駐在事務所 上海市長寧区延安西路1088号長峰中心516室 関係会社 ARI INTERNATIONAL Corp. (米国イリノイ州) (株)ファインラバー研究所 (埼玉県さいたま市) 朝日橡膠 (香港) 有限公司 (中国香港)

役員 (平成21年9月30日現在)

取締役会長	伊藤巖
代表取締役社長	横山林吉
代表取締役副社長	伊藤潤
常務取締役	中沢章二
取締役	亀本順志
常勤監査役	埴雅夫
監査役	柳沼晃
監査役	福家弘行
監査役	鈴木敦

○株主メモ

事業年度
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
定時株主総会
株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先

4月1日～翌年3月31日
3月31日
9月30日
毎年6月に開催

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所
公告の方法

ジャスダック証券取引所
電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

○ホームページのご紹介



■トップページ
<http://www.asahi-rubber.co.jp>

■IR情報配信モバイルサイト

当社の最新ニュースや財務データ、企業理念、日々の株価の動きなどがご覧いただけます。モバイル用URLもしくはQRコードでアクセスいただき、ページをご覧ください。



■モバイルサイトトップ
<http://m-ir.jp/c/5162>